



すまいるん vol.60



社会福祉法人 済生会
済生会熊本福祉センター

- 就労継続支援A型・B型
就労移行支援
済生会かがやき
- 幼保連携型 認定こども園
済生会しらふじ子ども園
児童発達支援センター
済生会なでしこ園
- 就労継続支援B型
生活介護
済生会ほほえみ
- 済生会グループホーム事業所
済生会熊本福祉相談支援センター
- 就労継続支援A型・B型
済生会ウイズ
- 熊本市障がい者相談支援センターさいせい
熊本県地域生活定着支援センター

こんにちは!! 済生会熊本福祉センターです。

私達の福祉センターは、認定こども園、児童発達支援センター、地域生活定着支援センター、障がい福祉サービス事業所で構成されています。

園児・利用者・従業員・職員総勢約560名が毎日『すまいるん』で頑張っています!!

済生会熊本福祉センターの理念及び基本方針

理念 一人ひとりを尊重し、共に生きる社会の実現をめざします。

- 基本方針**
- ・ライフステージに応じた自立を支援します。
 - ・専門性と施設機能を活かし、地域社会に貢献します。
 - ・利用者主体の福祉を実践します。



済生会熊本福祉センター所長 退任に当たって

所長 道端 由美子

2014年4月より済生会熊本福祉センターに所長兼管理者(済生会かがやき、済生会グループホーム事業所)として着任し、地域住民、福祉界や行政、済生会関係の皆様のご支援により7年間勤務することができたことに改めて感謝申し上げます。

医療の中で看護職として長年働いてきた私を所長として迎えて頂き、最初は戸惑うことばかりでした。地域共生社会を体現することで人権の尊重が想像以上に重視しなければならないことを痛感しました。制度も法律も違う中で、「話す言葉」、「文章表現」、「考え方」を一つひとつ学ばなければ、利用者さんを投影して愚かな自分の姿が透けて見え、手足を縛られたような気持でした。徐々に障がい者の方々と生活を共にし、相手の立場に立つことで、ものの道理が違って見えることに気づいてきました。これまでも済生会という自由度の高い組織で働いてきたことで、環境が変わることへの柔軟性は身につけていると思

いました。しかし、利用者さんの生きづらさを理解した専門的支援やさまざまな現場の困難な課題に、献身的に取り組んでいる施設があり、そこを利用されている利用者さんやご家族の存在を知る機会を与えて下さったことに感謝します。医療・福祉の領域をほんの少し経験したことで、まだ、狭い範囲かも知れませんが、視野が広がり済生会熊本福祉センターが担っている事業が社会に貢献できている実感を得ることができました。

任期中に2016年の熊本地震、2020年に新型コロナウイルス感染症と2度の予期せぬ困難に遭遇し、利用者さんの命を預かっている責任と有事の備えの大切さを痛感しました。また、全国の障がい者施設では新型コロナウイルス感染症のクラスターが発生していることを聞く度に、いつ自施設で発生するかわからない不安がありました。しかし、職員が感染防止に向けて熱心に支援し、利用者さん自身も自粛に協力してもらったことで、事業経営が継続できていることに感謝します。

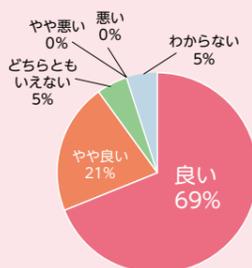
私は愛着がある済生会を離れることで、少し、寂しさもありますが、次は宮川栄助所長(元熊本病院副院長兼事務長)にバトンを渡して、陰ながら福祉センターの発展を応援したいと思います。皆様、長い間、ご支援ありがとうございました。今後とも福祉センターをよろしく願います。

2020年度 満足度アンケート集計結果

～福祉センター『利用者(児)満足度調査』集計結果より～
2020.10月実施

サービス向上委員会では、施設・園・センターを利用されている方を対象に、毎年『利用者(児)満足度調査』を行なっています。◎雰囲気や環境・安全管理面について◎職員の態度・対応◎行事活動◎給与や工賃についてなど、7項目のアンケートへの回答と多くのご意見・ご要望をいただきありがとうございました。

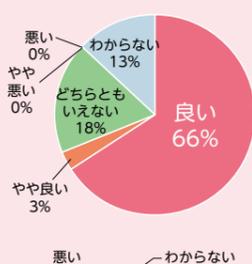
今回は434名の方から回答をいただきました。下のグラフは各事業所の総合評価の結果です。



済生会かがやき 利用者 (38名回答)

今年度はA型9名、B型23名、就労移行6名の計38名が回答されました。昨年に比べて全体評価で満足度が8%減になっています。コロナ禍で希望通りの活動が出来なかったこと、外出の制限・祭りの中止などが考えられます。

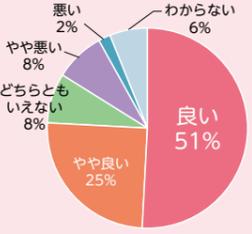
一方で「仕事・工賃・昼食」の部分については5～6%程度満足度が増えており、ありがたい意見もいただいております。今回の満足度調査の意見を踏まえ、今後もよりよいかかがやき事業所になるように職員一同頑張っていきたいと思っております。



済生会ほほえみ 利用者 (38名回答)

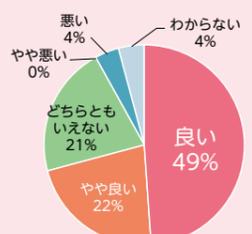
B型9名、生活介護29名 計38名が回答されました。前年度のアンケートで「分からない・未回答」の回答が多かった為、今年度生活介護利用者は、より回答しやすくするため、良い(○)、どちらともいえない(△)、悪い(x)の三択に変更しました。総合評価は良いが66%でした。内訳として、B型は良いが78%、やや良いが11%、生活介護では良い62%という結果でした。全体的には「ほほえみは楽しい」等の嬉しい意見をいただきました。その他コロナ禍の影響により「外出したい」「販売に行きたい」という意見が多く出ました。外出については、利用者の要望を聞きながら代替えで楽しめる活動を計画することを心がけています。販売については、製造作業の中で役割を設け、作業に対する満足度を高めることが出来るよう配慮しています。

今回のアンケート調査を踏まえ、利用者の皆さまに安心、満足して利用していただける「済生会ほほえみ」を目指していききたいと思います。



済生会ウイズ 利用者 (49名回答)

昨年度より「良い・やや良い」の合計が76% (前年比プラス5%)
項目別では、仕事内容よりも人間関係について悩みを持っている人が多かったです。
職員の態度や言葉使いに不満を持っている人はいますが、話や相談はよく聞いてくれます、との意見も多く聞かれています。本年度は余暇支援で外出の回数が少なかったことから外に出たい意見があり、来年度の課題となりました。



済生会グループホーム事業所 利用者 (81名回答)

総合評価では、「良い」「やや良い」を合わせて71%となり、昨年と比較すると3%増で「概ね良い」という結果となりました。各回答の大きな変化はありませんでした。
昨年より「良い」「やや良い」が下がった項目は、「生活について」で、10%減の76%。続いて「食事について」で、昨年より4%減の82%となっています。
「生活について」では、生活音に対する苦情や老朽化に対する要望が多く、「食事について」では、趣向に対する改善の要望が多く聞かれました。これらについては個別対応及びしかるべき計画を立てて対応する等改善を行います。生活音については、背景として新型コロナウイルス感染症予防によって外出できなかったことで居室での過ごし方にも変化が生じていることも考えられ、支援について模索しているところです。

同様に、定例の行事を控えたため、「行事について」の評価を心配しておりましたが、「良い」「やや良い」を合わせた評価は、昨年より1%増の54%で大きな変化はありませんでした。ただし、他の項目より評価が低いこと。実際に「外に出る機会がない」「行事が無くなって楽しくない」という意見もあり、コロナ禍で出来る行事(感染対策を実施して)を工夫して実施可能なものから取り組んでいます。

済生会なでしこ園 保護者 (30名回答)

今年度は回収率が91%と高く、より多くの保護者から回答を得ることができました。児童発達支援ガイドラインに示されたアンケート内容に沿って、療育支援のみならず、職員対応や施設・設備、安全管理や苦情・要望への対応等、9つの項目に対して満足度を調査しました。今回から利用形態に合わせ、項目内容を2パターンとしましたが、総合評価では前年度比で「満足」が90%とさらに増加し、多くの感謝の言葉をいただきました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大の影響から、制限せざるを得なかった保護者向け勉強会や保護者同士の交流の場を求める声も自由記述の中で見られました。今後はコロナ禍での保護者支援の在り方についての方策を講じ、更なる満足度向上につなげてまいりたいと思っております。

済生会しらふじ子ども園 保護者 (104名回答)

2020年度は利用者家族等満足調査の満足度の総合評価では、今回が「良い」と「やや良い」の合計は98%と昨年の97%より僅かに向上しています。クラス・行事の様子見える化の推進やメールによる園からの連絡事項やホームページのニュースを活用するなど、保護者により子ども園の様子を伝えることを心掛けた成果です。これからも工夫しながらより一層、意見交換や情報発信を行いたいと思っております。

済生会熊本福祉相談支援センター 利用者 (57名回答)

ご契約者の中から100名の方に郵送にてアンケート調査を行い、57名の方からご回答を頂きました。総合評価は「良い」「やや良い」86%、「普通」12%、「悪い」2%という回答でした。相談対応については「親身に対応してくれる」など満足しているというご意見も頂きましたが、「相談員として対応してほしい」「笑顔でゆっくり話してほしい」「電話対応で説明がまわりくどい」などのご意見もありました。今年度は新型コロナの影響で、電話で対応させて頂く機会も多く、不備や伝わりにくいこともあったと思います。頂いたご意見を活かして、より丁寧な相談支援を心がけていきたいと思います。

成人の抱負

済生会かがやき

仕事を頑張る女性になる！
あまえない！



請野 日香梨さん

素直に何でもチャレンジして
楽しく仕事を頑張ります！



永松 未妃さん

済生会グループホーム事業所

自分で何でも出来る様に、
苦手な事を克服する。



田中 匠さん

済生会ウイズ

まだ何の仕事をしたいかは分
らないが、一般就労を目指し、今
の仕事で少しずつレベルアップ
出来る様に頑張ります。



西川 来夢さん

済生会ほほえみ

計量の仕事を頑張ります。



草野 航世さん

「くまもと 障がい者芸術展」出展

12月22日～12月26日に熊本県立美術館別館
で開催された「くまもと障がい者芸術展」にグ
ループホーム利用者の方が作品を出展しました。

この芸術展には、昨年も出展していて、今年は
5名の方の作品が展示されました。

作品は、夕食後の余暇の時間を使って作成され
たちぎり絵です。

今年は、コロナ感染拡大の影響で、残念ながら
会場には行けませんでした。来年もまた出展す
ることを楽しみに作品の制作をされています。

グループホーム事業所

～「カタチにしたい！」情熱の輝き～

くまもと 障がい者芸術展

令和2年 12月22日(火)～26日(土) 入場無料

9:30～18:30 (入館は18:00まで)
※土曜日は9:30～17:15 (入館は16:45まで)

主催/くまもとハートウィーク実行委員会
【構成団体】 熊本県社会福祉協議会、熊本県精神障害者福祉会連合会、熊本県身体障害者福祉団体連合会、
熊本県手をつなぐ育成会、NHK熊本放送局、熊本県教育委員会、熊本県(順不同)

くまもと県民文化センター(旧「くまもと県民文化センター」)より実施しています。



福祉サービス 第三者評価受審

済生会なでしこ園

済生会なでしこ園は福祉サービス第三者評価を2020年12月24日に3回目を受
審しました。受審にあたり、マニュアルの見直しや自己評価の確認、施設整備など
を行い、前回の評価で課題となった点の改善に向けて準備をしてきました。今回は、
コロナ感染対策を万全に行う中で調査者より園内視察、書類審査、
ヒヤリング等を行っていただきました。あらためて理念・基本方針
を全職員が理解し実践することが、保護者の苦情や、利用児への福祉
サービスの質向上につながることを痛感しました。より良いサー
ビスを提供できるようこれからも努
力していきたいと思えます。



委員会紹介 (サービス向上委員会)

サービス向上委員会

サービス向上委員会では、利用者へのサービス向上や業務改善に繋げていくこと
を目的に活動しています。

委員会が主体となり「利用者満足度調査」を毎年実施しています。仕事や活動に
ついて、生活に関すること、職員の対応等サービスに関する満足度及び意見、要望
を取りまとめています。調査を集計し各事業所にフィードバックします。改善点を話
し合ってもらい、定期的に改善の進捗状況を確認しています。アンケートの集計結
果は、広報誌「すまいるん」にも掲載しています。

また、職員対象に「語ろう会」を実施しています。「語ろう会」では、テーマごとに
グループを作り、日頃の業務で感じる疑問や悩みを自由に語り合っています。日頃は
あまり接点が無い他事業所の職員とも話すきっかけになり、様々な意見を聞くこと
が出来ていい刺激となっております。

ほほえみ 忘年会

済生会ほほえみ

12月26日(土)、ほほえみ利用者の忘年会を開催しま
した。例年はホテルなどで会食し一年の労をねぎらいます
が、今回は新型コロナウイルス感染症の影響で外出は出来
ず、施設内での忘年会となりました。ソーシャルディス
タンスを保つ・換気をする・検温・手指消毒の徹底など…
様々な感染対策を実施しながらの開催となりました。

昼食は豪華なお弁当を準備し、例年皆さんが楽しみにし
ているカラオケやプレゼント渡しなども
行い、場所は違えど楽しめる工夫が盛り
だくさん！楽しい忘年会と
なりました。



第17回 やのしい発表会

済生会しらふじ子ども園

12月26日(土)に、火の君文化センターにて、「第17回たの
しい発表会」を行いました。当日、保護者の方には、検温や手
指消毒、人数制限などのご協力を頂きながらの開催となりまし
た。例年通り、2歳児クラス以上の参加となり、それぞれに
遊戯・劇・リズム遊び・合奏など保育活動の中での練習の成果
を披露してくれました。

ドキドキして泣いてしまうお友だち、イキイキとした表情で
堂々とステージに立つお友だちなどそれぞれに発表会の雰囲気
を感じたようです。

たくさんの拍手をもらい、嬉しそうな子どもたちでした。
ステージ上で楽しんで発表する子どもたちを見て、心の面
でも身体の面でも成長を感じることができ、私たちもうれしく思いました。



発行所
済生会熊本福祉センター
発行責任者 道端 由美子
編集 広報委員会
熊本市南区内田町3560-1
TEL 096-223-3330
FAX 096-223-3429
https://www.sk-fukushi.jp/